

別表五の二（二）付表二 「連結親法人の連結法人税個別帰属額の受払いに関する明細書」

1 この明細書の用途

この明細書は、納税義務者としての連結親法人が、連結グループの一員としての連結親法人及び連結子法人と受払いをすべき連結法人税個別帰属額又は附帯税の負担額に係る未収入金又は未払金の状況を明らかにするために使用します。

2 各欄の記載要領

欄		記 載 要 領	注 意 事 項
「連結親法人の計上科目」の「未収入金」と「未払金」		納税義務者としての連結親法人が連結グループの一員としての連結親法人又は連結子法人から受け取るべき連結法人税個別帰属額がある場合にその金額（連結法人の連結法人税個別帰属支払額）を「未収入金」に、連結親法人又は連結子法人に支払うべき連結法人税個別帰属額がある場合にその金額（連結法人の連結法人税個別帰属受取額）を「未払金」に記載します。	受払いすべき附帯税の負担額については、その金額を外書として記載します。
「連結親法人」の各欄	「期首現在未決済額 1」	連結親法人の別表五の二(二)付表一の「Ⅰ 各連結法人の連結法人税個別帰属額の発生状況等の明細」の「期首現在未決済額①」に記載された金額のうち連結法人税個別帰属支払額を「未収入金」の欄に、連結法人税個別帰属受取額を「未払金」の欄に記載します。	
	「当期発生額 2」	連結親法人の別表五の二(二)付表一の「Ⅰ 各連結法人の連結法人税個別帰属額の発生状況等の明細」の「当期発生額②」に記載された金額のうち連結法人税個別帰属支払額を「未収入金」の欄に、連結法人税個別帰属受取額を「未払金」の欄に記載します。	
「連結親法人が連結法人税個別帰属額を受払いすべき連結法人の名称」の空欄		連結親法人が連結法人税個別帰属額を受払いすべき連結子法人の名称を記載するとともに、この欄の「期首現在未決済額 1」及び「当期発生額 2」については、「連結親法人」の各欄の記載要領に準じて記載します。	
「未収入金計」の「期末現在未決済額 4」			この欄に記載した金額と連結親法人の別表五の二(一)付表一の「未収連結法人税個別帰属支払額」の「差引翌期首現

欄	記 載 要 領	注 意 事 項
		在連結個別利益積立金額④」の金額とは一致します。
「未払金計」の「期末現在未決済額 4」		この欄に記載した金額に△印を付した金額と連結親法人の別表五の二(一)付表一の「未払連結法人税個別帰属受取額」の「差引翌期首現在連結個別利益積立金額④」の金額とは一致します。